

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	42
2. 大学等名	千葉大学
3. テーマ	Ⅲ. 高大接続
4. 取組学部等名	医学部、園芸学部、教育学部、工学部、国際教養学部、文学部、理学部、看護学部、法政経学部、薬学部、先進科学センター、 高等教育研究機構国際未来教育基幹（平成30年4月に改組）
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要(※400字以内)	(399文字)
<p>本申請では高大シームレス接続のための中・高等教育カリキュラム改革を大学が主導する。すなわち大学がこれからの理系グローバル人材像を示し、高校と連携して資質と知識を育てる教育を実施する。このために「次世代才能スキップアップ」プログラムを開設し、人材養成・選抜を行い、高等教育の早期化と個々の才能を評価する体制づくりを行うものである。また実施母体として大学・高校・教育委員会がコンソーシアムを構築し、千葉県全域のSSH化を果たすとともに、千葉大学の持つ海外科学教育コンソーシアムとの連動により、生徒のグローバル化能力をも育成する。この中から優秀な理系グローバル人材の卵〔G-スキッパー〕を養成し、選抜する。このプログラム実施により地域教育力が向上するとともに、入試改革との連携により大学教育の高度化がなされ、高大シームレス教育のモデルとなる。さらには千葉大学のグローバルな教育・研究拠点としての機能を向上する。</p>	